

2026年度・第37回 京都大学防災研究所公開講座
「暮らしに役立つ防災研究！」

災害時、情報は 私たちをどう助けるのか

2026年9月12日(土)

京都大学防災研究所巨大災害研究センター

廣井 慧

**防災アプリ、防災LINEを
使っていますか？**

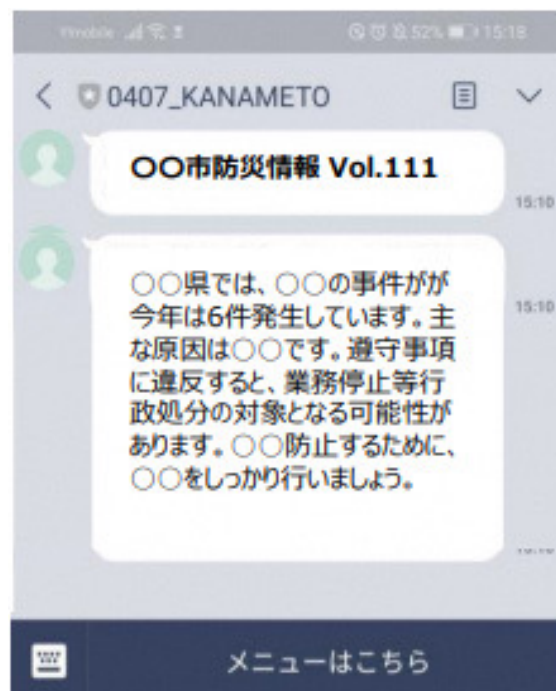
**防災アプリ、防災LINEから
防災情報が届いたことが
ありますか？**

ITのよいところ

Yahoo!防災速報



宇治市公式LINE



八幡市防災アプリ



Yahoo!防災速報: <https://emg.yahoo.co.jp/>

宇治市公式LINE: <https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/3/33790.html>

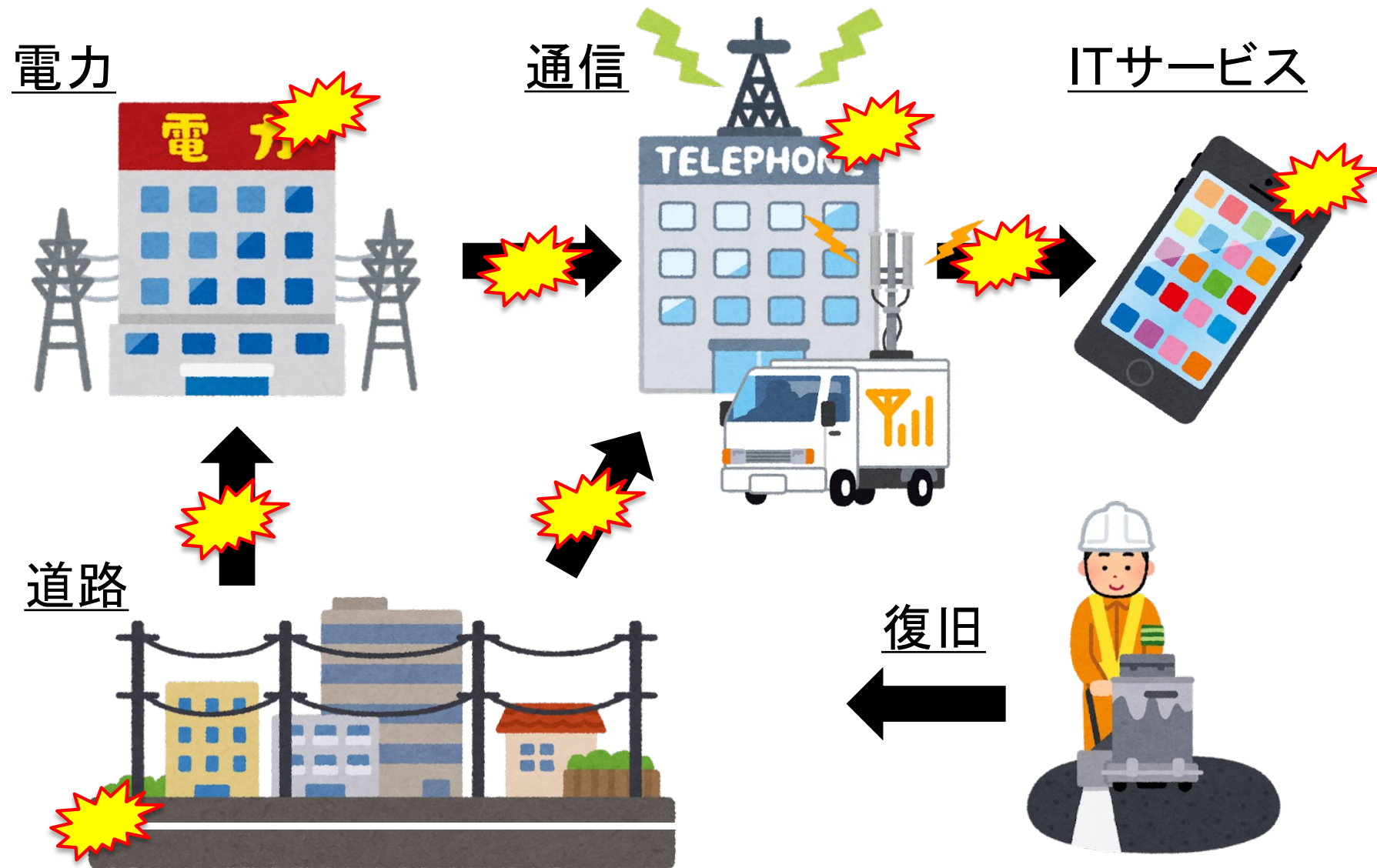
八幡市防災アプリ: <https://www.city.yawata.kyoto.jp/0000006923.html>

一方で...ITの弱点

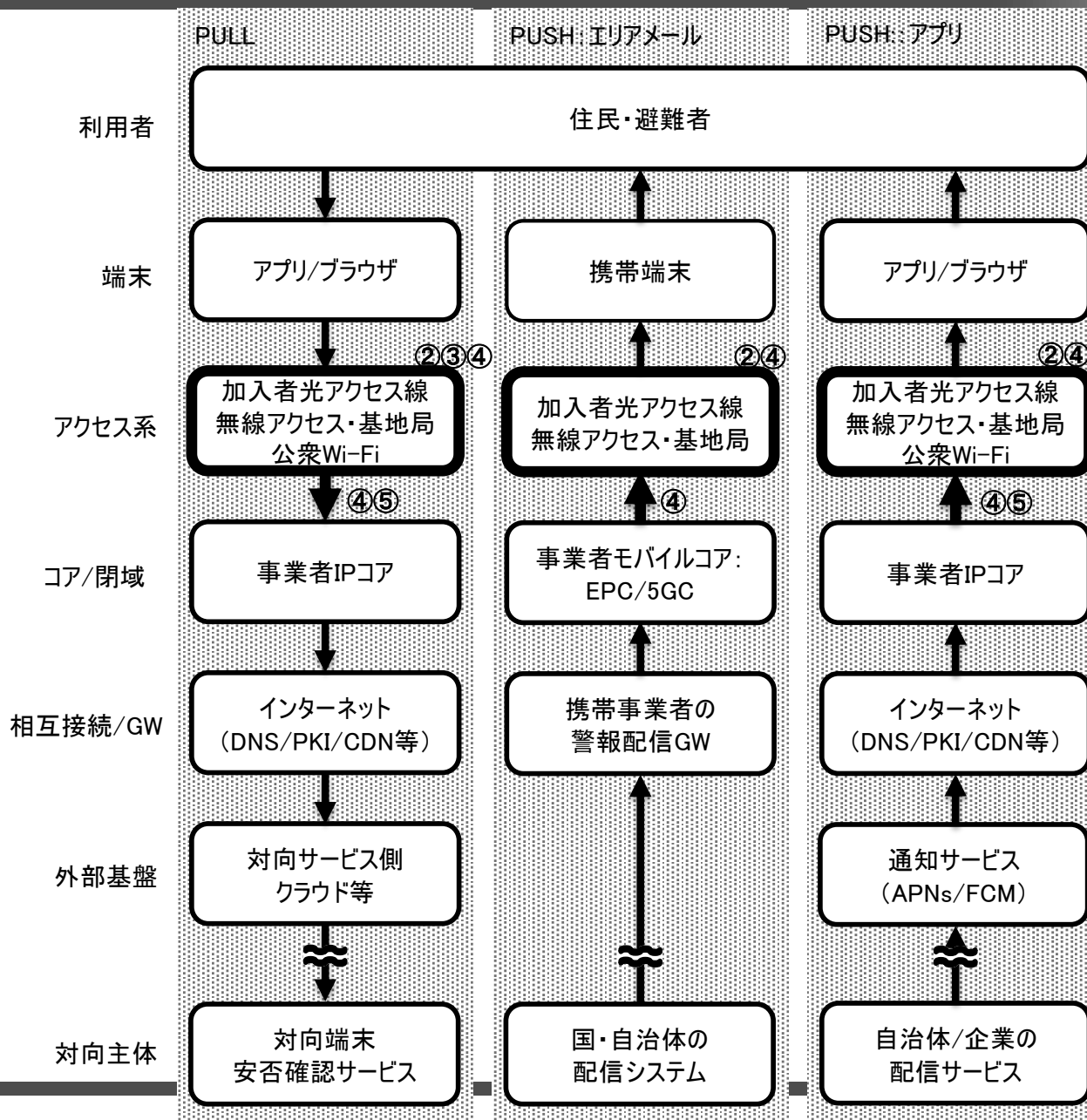
- 情報技術は年々重層化・相互依存化
社会を支えるはずのIT自体が、
壊れやすくなっている
 - 相互依存性
 - 重層化

- 複雑化した結果、何が起きかねないのか
便利になるほど、複雑になり、
必要なサービスが使えなくなることも

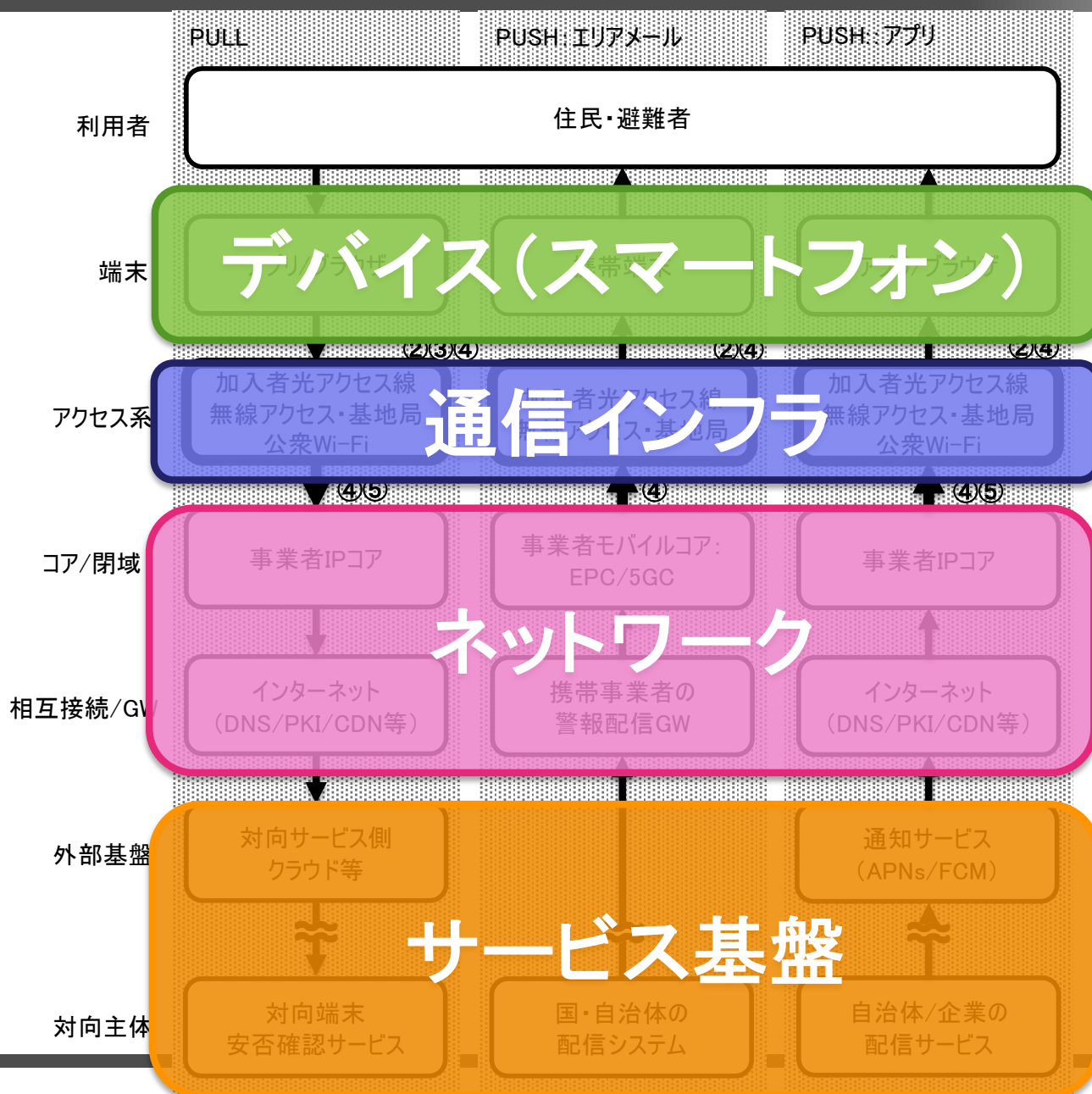
ITと他インフラとの相互依存性



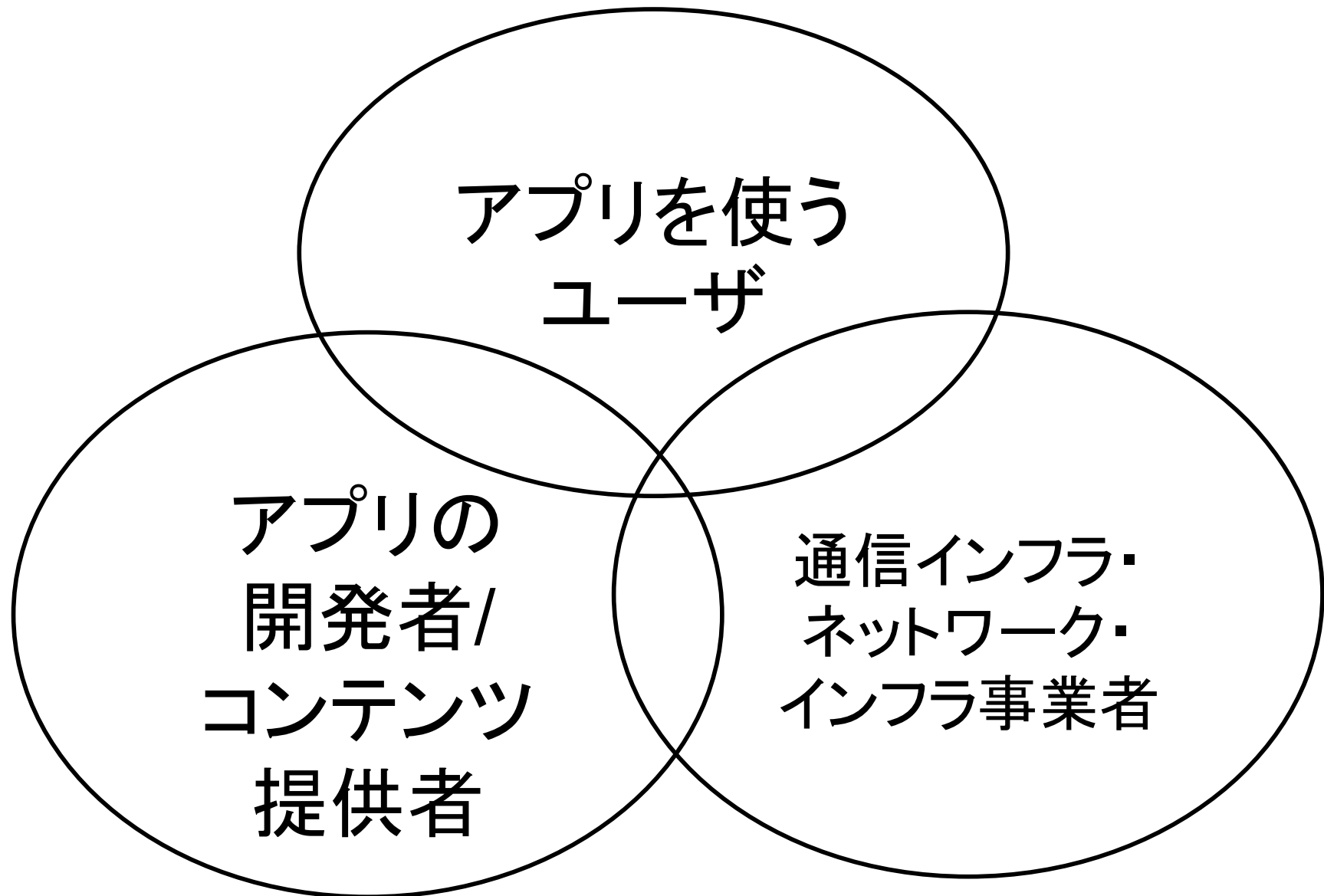
重層化：アプリを使った防災情報提供



重層化: アプリを使った防災情報提供



防災ITを支える3つの立場



我々にできる最新の防災の準備とは？

■ ITには、強いところと弱いところがある

- 複雑になりすぎて、開発側でも全体把握が難しい
- 一見、頑健でも、大規模災害では使えないことも？

■ 防災ITリテラシーを更新する

- 災害時に情報を得るために、どの手段を使うのか？
- それがどのような条件で使えるのか？
- 使えない場合の代替手段も考えておく
- ときどき、注意を払っていただきたい

■ すべてのアプリに耐災害性を！